

2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

福知山市

(都道府県:京都府)

1. 当該地域の情報 (2019年12月末現在)

地域の課題	地域ぐるみでの多文化共生、日本語教育の推進の在り方について検討することができていない。民間国際交流団体や各自治会など地域コミュニティと連携した日本語教育の推進体制をとるための関係構築を図ることができていない。
在住外国人数 外国人比率	【福知山市人口】 77,682人 【在住外国人数】 1,032人 【外国人比率】1.32%
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】 韓国・朝鮮272人 フィリピン220人 ベトナム189人 中国158人 ブラジル62人 インドネシア27人 ペルー17人 米国17人 カンボジア10人 インド8人 【在留資格】 特別永住者245人 永住者239人 技能実習2号口122人 定住者100人 技能実習1号口88人 日本人の配偶者等53人 国際業務49人 技能実習2号イ25人 家族滞在22人 技能実習1号イ20人 【滞在年数・在留期間などの状況】 外国籍市民のうち約半数が特別永住者又は永住者である。しかしここ5年で約200人増加した外国籍市民の在留資格は、ほとんどが特別永住者又は永住者以外で、年々全外国人住民に占める日本語教育が必要とされる人の割合は増えている。
在住外国人の 日本語教育の現状	・現在、ふくちやま日本語教室(福知山市堀地区)には学習者登録者数が約50人おり、平成30年度は延べ226人の学習者がいた。 ・技能実習生の学習者は会社の担当者が一度に複数名の従業員を連れて来られ、ALTの学習者はクチコミで広がっている。 ・学習者の理解度別に分けて、日本語指導を行っているが、日本語支援ボランティアが少なく、学習者の多様なニーズに対応することが困難である。

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目
事業の目的	○日本語教育推進体制の検討 ○日本語教室開設・運営支援 ○日本語支援ボランティア及び日本語支援コーディネーターの養成
事業の概要	・市内日本語教室及び民間国際交流団体、大学等の話し合いの場を設けて、それぞれの団体の取組みやその中での工夫や課題について情報共有・意見交換を行い、連携体制を検討した。 ・引き続き日本語教室へコーディネーターを派遣し、日本語教室の運営及び教育方法について指導を行いながら、教室の運営及び教育の仕組づくりをボランティアとともに行った。 ・日本語支援ボランティアに関心がある人を対象に、養成講座を実施した。 ・ボランティア養成講座の受講生を対象に、日本語教室の教室見学会を行い、日本語教室のボランティアの増員を図った。 ・文化庁主催の地域日本語教育コーディネーター研修に参加し、コーディネーターとしての知識を身につけた。 ・ボランティア研修会を実施し、日本語を指導するための知識を身につけた。 ・Ringsの定例会や京都府北中部日本語教室ネットワーク会議に出席し、他地域との情報交換や関係構築を図り教室運営の参考にした。 ・国際交流のイベントを通じて、当市在住の日本人と外国人との交流の場と外国人の日本語の能力を向上させる機会を創出した。
事業の対象期間	2019年4月～2020年3月
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	・市内日本語教室及び民間国際交流団体、大学等の話し合いの場を設けて、それぞれの団体の取組みやその中での工夫や課題について情報共有・意見交換を行い、連携体制を検討した。 ・引き続き日本語教室へコーディネーターを派遣し、日本語教室の運営及び教育方法について指導を行いながら、教室の運営及び教育の仕組づくりをボランティアとともに行った。 ・日本語支援ボランティアに関心がある人を対象に、養成講座を実施した。 ・ボランティア養成講座の受講生を対象に、日本語教室の教室見学会を行い、日本語教室のボランティアの増員を図った。 ・Ringsの定例会や京都府北中部日本語教室ネットワーク会議に出席し、他地域との情報交換や関係構築を図り教室運営の参考にした。 ・国際交流イベントや生活支援事業で福知山市在住の日本人と外国人の交流の場を設けることで、お互いの理解を深めたり関係構築に貢献した。

担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	大谷 杏	福知山公立大学	准教授	他主体・セクターとの関係構築及び調整、各事業の企画・運営、ボランティア育成、教材作成、教室運営に関すること等
	張 明軍	福知山公立大学	助教	他主体・セクターとの関係構築及び調整、各事業の企画・運営
	山尾 啓子	ふくちやま日本語教室		ボランティア育成、教材作成、教室運営に関すること等
	芦田 義孝	ふくちやま日本語教室		ボランティア育成、教材作成、教室運営に関すること等
	石田 彩奈	福知山市地域振興部まちづくり推進課	主査	各事業の企画・広報・運営、事務、庶務、日本語教室学習者・ボランティア募集
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	西原 鈴子	NPO法人日本語教育研究所	理事長	継続(3年目)
	近藤 徳明	(公財)京都府国際センター	事業課長	継続(3年目)
	財部 仁子	神戸YMCA学院専門学校日本語学科	専任講師	継続(3年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1)地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	全体統括：西原 鈴子 ボランティア育成、教材作成、教室運営に関する助言等：大谷 杏（福知山公立大学）、山尾 啓子（ふくちやま日本語教室）、芦田 義孝（ふくちやま日本語教室） 他主体・セクターとの関係構築及び調整：近藤 徳明（公益財団法人京都府国際センター）、張 明軍（福知山公立大学）、大谷 杏（福知山公立大学） 各事業の企画・運営：張 明軍（福知山公立大学）、大谷 杏（福知山公立大学） ボランティア養成講座の講師：財部 仁子（神戸YMCA学院専門学校日本語学科） 各事業の企画・広報・運営、事務、庶務、日本語教室学習者・ボランティア募集：石田 彩奈（福知山市役所）		
	所属（担当課）	担当者名	職名
	特定非営利活動法人 日本語教育研究所	西原 鈴子	理事長
	（公財）京都府国際センター	近藤 徳明	事業課長
	神戸YMCA学院専門学校 日本語学科	財部 仁子	専任講師
	福知山公立大学	張 明軍	助教
	福知山公立大学	大谷 杏	准教授
	ふくちやま日本語教室	山尾 啓子	日本語支援ボランティア
	ふくちやま日本語教室	芦田 義孝	日本語支援ボランティア
	福知山市地域振興部まちづくり推進課	石田 彩奈	主査

(2)日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制	全体統括：西原 鈴子 全体コーディネート：近藤 徳明（公益財団法人京都府国際センター） ボランティア研修会の講師：財部 仁子（神戸YMCA学院専門学校日本語学科） ボランティア育成、教材作成、教室運営への助言等：大谷 杏（福知山公立大学）、山尾 啓子（ふくちやま日本語教室）、芦田 義孝（ふくちやま日本語教室） 広報、学習者・ボランティア募集：石田 彩奈（福知山市役所）			
	組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
	特定非営利活動法人 日本語教育研究所		理事長	西原 鈴子
	（公財）京都府国際センター		事業課長	近藤 徳明
	神戸YMCA学院専門学校 日本語学科		専任講師	財部 仁子
	福知山公立大学		准教授	大谷 杏
ふくちやま日本語教室		日本語支援ボランティア	山尾 啓子	
ふくちやま日本語教室		日本語支援ボランティア	芦田 義孝	
福知山市	地域振興部まちづくり推進課	主査	石田 彩奈	

4. 具体的な取組内容

(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2019年 4月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00)	○日本語教室支援 ○ボランティアの対応	
2019年 5月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○日本語教室 総会(5月19日) ○キックオフ会議(5月21日)	○日本語教室支援 ○ボランティアの対応 ○総会の運営 ○会議出席	★キックオフ会議(5月21日) ・平成30年度事業報告について ・2019年度事業計画について ・意見交換
2019年 6月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○Rings会議出席 ○教材作成	○日本語教室支援 ○会議出席 ○教材作成	
2019年 7月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○教室ホームページの作成 ○教室の多言語チラシの作成 ○教材作成 ○七夕まつり(7月7日) ○「外国人労働者と地域住民のより良い関係づくり」講演会(7月12日) ○「やさしい日本語」講座(7月25日) ○京都府北中部ネットワーク会議(7月26日)	○日本語教室支援 ○ボランティアの対応 ○教室ホームページの作成 ○教室の多言語チラシの作成 ○教材作成 ○七夕まつりの準備、運営 ○会議出席 ○「やさしい日本語」講座の運営補助 ○講演会参加	
2019年 8月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○教材作成 ○ボランティア研修会(8月18日) ○日本語支援ボランティア養成講座(8月31日) ○コーディネーター研修(8月29日、30日)	○日本語教室支援 ○ボランティアの対応 ○教材作成 ○新人ボランティアへ教え方の指導 ○会議出席 ○ボランティア研修会の運営補助 ○日本語支援ボランティア養成講座の運営補助 ○コーディネーター研修への参加 ○教室運営体制改善に向けた検討	★ボランティア研修会(8月18日) ・研修会の講師 ・模擬授業 ・教室視察 ・講評、意見交換 ★ボランティア養成講座(8月31日) ・講座の講師
2019年 9月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○代表・コーディネーター会議(9月19日)	○日本語教室支援 ○ボランティアの対応 ○会議出席 ○新人ボランティアへ教え方の指導	
2019年 10月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○コーディネーター会議(10月9日)	○日本語教室支援 ○ボランティアの対応 ○会議出席 ○イベント運営準備	
2019年 11月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○コーディネーター研修(11月15日)	○日本語教室支援 ○ボランティアの対応 ○コーディネーター研修への参加 ○新人ボランティアへ教え方の指導 ○イベント運営準備	
2019年 12月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○京都府北中部ネットワーク会議(12月9日) ○多文化交流フェスタ(12月22日) ○第2回アドバイザー・コーディネーター会議(12月22日)	○日本語教室支援 ○イベント運営準備 ○多文化交流フェスタの運営補助 ○会議参加	★多文化交流フェスタ、アドバイザー・コーディネーター会議(12月22日) ・2019年度事業の進捗状況について ・令和2年度の事業について
2020年 1月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○書初め勉強会(1月19日)	○日本語教室支援 ○書初め勉強会の準備、運営	
2020年 2月	○日本語教室試行(毎週日曜日14:00～16:00) ○ゴミの分別講座(2月9日) ○日本語教室運営・体制会議(2月16日) ○コーディネーター研修(2月28日)	○日本語教室支援 ○ゴミの分別講座の準備、運営 ○会議の運営、参加 ○コーディネーター研修への参加	
2020年 3月	※教室の運営については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施せず		

(2)立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		ふくちやま日本語教室					
外国人参加者について		[国籍]ベトナム13人、フィリピン8人、中国7人、アメリカ6人、インド3人、ブラジル3人、インドネシア2人、ジャマイカ2人、マレーシア2人 [属性]技能実習生やALTが主な対象			参加者数 (内 外国人数)		受講者46名 支援者(ボランティア)20名 支援者(ボランティア以外のコーディネーター)3名
開催時間数		総時間 78時間			内訳 2時間 × 39回		
目標		外国人が日本の生活に根ざした日本語を学び、安心安全な生活を送れるようにする。					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2019年4月7日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	3	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 7名
2	2019年4月14日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	4	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 9名
3	2019年4月21日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	8	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 7名
4	2019年4月28日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	8	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 8名
5	2019年5月5日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	5	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 8名
6	2019年5月12日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	10	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 11名
7	2019年5月19日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	6	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 10名
8	2019年5月26日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	6	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 9名
8	2019年6月9日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	11	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 10名
9	2019年6月16日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	12	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 10名
10	2019年6月23日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	9	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 7名
11	2019年6月30日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	11	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 8名
12	2019年7月7日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	11	七夕まつり	日本の文化体験(短冊、笹飾りの制作)、ゴミ分別の勉強	日本語支援ボラン ティア 10名
13	2019年7月14日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	7	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」と「いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 9名
14	2019年7月28日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	11	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」と「いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 7名
15	2019年8月4日(日) 14:00～16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	11	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの日本語」と「いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室」)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 13名

[illegible]

38	2020年2月9日(日) 14:00~16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	6	ゴミの分別講座	環境パーク施設紹介とリサイクルの様子のDVD上映、 ゴミの実物を示してのゴミの分別講座	日本語支援ボラン ティア 15名
39	2020年2月23日(日) 14:00~16:00	2	人権ふれあい センター 堀 会館	6	日本語指導	学習者の日本語理解度ごとに分けて、教科書(「みんなの 日本語」と「いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教 室」等)を使った日本語指導、全体で学習の振り返り	日本語支援ボラン ティア 7名

5. 今年度事業全体について

進捗状況	概ね事業計画通りに実施した。
成果	○2年間御尽力いただいたコーディネーター1名が昨年度限りで退任され、今年度は今までと大きく体制が変わったが、今後も日本語教室を支えていく日本語教室のボランティアである新コーディネーター2名を中心に今後も継続可能な運営体制を検討し試行できた。 ○教室HPや多言語チラシを作成し、広報手段を拡大した。 ○出欠や事務連絡、情報共有などがスムーズに行えるよう、教室ボランティアLINEグループや学習者LINEグループを作成し運用した。
地域の関係者との連携による効果	○福知山公立大学の学生に市の多文化共生施策について知ってもらう機会を設け、多文化共生への関心と理解を深めてもらうことで、「多文化交流フェスタ」にて学生に司会やプレゼンをしてもらうなど、市の日本語教育や国際交流事業に参画してもらえるようになった。 ○今年度新しくコーディネーターとして活動いただいている大学教員には日本語教室のHPや多言語チラシの作成、ボランティアの相談役等、日本語教室にも大きく貢献いただいた。 ○大学教員や学生から多様な意見や助言をいただくことで、市の日本語教育や国際交流事業が活発になった。
コーディネーターの主な活動	①ニーズの調査(0H) ②体制整備のための調整(100H) ③人材育成のための調整(3H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(35H) ⑤教材作成に向けた調整(14H) ⑥その他(61H) (具体的な内容:イベント運営のための調整)
アドバイザーの主な助言	個人的な(個人情報収集するような)会話をするボランティアがいる ⇒マンツーマンで2時間ずつというから、間がもたないのでは？個人的な会話抜きでどういう会話をしたらいいか、わからないのでは？気づいたらその場で先輩ボランティアが注意してほしい。 もしオリジナルの教材を作るとしたらどのようなものがいいか ⇒福知山で生活するための教室だから、学習者からの要望のあるものを作ってはどうか、教材は流動的なものなので、固めない方がいい。 漢字を教えるのが難しい ⇒漢字の勉強のみだけでなく、ちゃんと対話しながら指導する。会話も勉強できる。似た漢字は誰もが難しく、間違えやすい。ヒントになるようなことを言ったり、反対の意味の漢字を同時に教える(長い⇔短い等)、偏の意味を言ってあげたり(しんによう、は「みち」など)教え方を工夫したらよい。 両親が外国人の子どもの指導方法は？ ⇒子どもの興味ある本などを準備しておく。折り紙をする時、子どもは聞いて覚えるから、「半分に折ってみましょう」など、日本語で一つ一つ説明しながら教える。今後学校に行ったら、日常生活で使わない学習言語(三角形、十、一等)を覚えなさいといけな。親が非母語者なので、国語の本や問題文を理解できない。実際のお便りや学校の教科書を教材にする。親とは母語で会話をする方がよい。(家での会話で日本語を強要しない)思考する言語を持つておくことが重要、子が親の日本語力を超える時、家で日本語を強要していると詳しいことを相談できなかつたりすることが起こる。小3・4になったら、時間を区切って30分勉強したら10分遊ぶとか、小5・6になったら、何を勉強するか、自分で計画を立てさせて、自分で決めたことを勉強させる。 あまり日本語ができない人、簡単な単語もわからない人のサポート方法は？ ⇒たとえ「やさしい日本語」を使っても限界がある。予め絵や写真を準備したり、ジェスチャーで意思を伝える。 その他:おしゃべりを楽しむことが大切。楽しいのが一番、色々話すのが一番。テキスト選びは学習者を尊重する 日本語教育の指導は、「生活に必要なことができていく」ということを視点に今後考えていったらいい
今後の課題	○多文化共生や日本語教室について、地域住民や市職員の無知・無関心が多い。多文化共生講演会や国際交流イベントを実施し、地域に住む外国人や多文化共生について知ってもらい、多文化共生についての意識改革を図る。 ○ボランティアの数や知識の不足がある。日本語を教えるための知識の習得やスキル向上のために日本語支援ボランティア研修会を実施する。新規ボランティアを獲得するために日本語教室の周知・広報を図り日本語支援ボランティア養成講座を実施する。 ○持続可能な教室運営にむけて、資金面、人材面ともに特定の人に負担がかからない、無理のない体制を整える。

今後の予定	この3年間で福知山市や福知山公立大学、他の国際交流団体等と関係を構築し協働することで、日本語教室での日本語教育以外にも広がりがある事業が実施でき多くの市民の参画と日本語教室について知ってもらう機会を創出できた。来年度以降も引き続きこのつながりを大切にし様々な団体と協働して、福知山市全体の日本語教育を充実させることができるよう、取り組んでいきたい。 【2020年度事業計画】 ○福知山市内の日本語教室運営支援 - 実施主体：市内の各日本語教室 - 日本語教室の役割：持続可能な教室の運営実施 - 市の役割：教室の広報、市内関係団体との連携 - 予算：学習者からの参加費、ボランティアの会費 ○日本語支援ボランティア養成講座の実施 - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：新規ボランティアに参画してもらうための教室紹介 - 市の役割：講座の実施にかかること全て - 予算：市の予算 ○日本語支援ボランティア研修会の実施 - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：教室ボランティアの研修会への参加 - 市の役割：研修会の実施にかかること全て - 予算：市の予算 ○福知山市国際交流イベント - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：運営協力、ボランティア・学習者への参加促進 - 市の役割：運営 - 予算：市の予算 ○国際交流ボランティア活動の運営 - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：なし - 市の役割：ボランティアの募集と仲介 - 予算：なし ○多文化共生講演会の実施 - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：講演会への参加 - 市の役割：講演会実施にかかかかること全て - 予算：市の予算 ○福知山市国際交流ネットワーク会議の運営 - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：国際交流ネットワーク会議への参加 - 市の役割：事務局運営 - 予算：なし ○庁内PT立ち上げの検討 - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：なし - 市の役割：庁内PTの運営 - 予算：なし ○国際交流団体・高校生・大学生との連携やサポート - 実施主体：市 - 日本語教室の役割：日本語教室へ協力依頼があれば、その都度協力 - 市の役割：市へ協力依頼があれば、その都度協力 - 予算：なし
--------------	---

本件担当 ： 福知山市役所まちづくり推進課地域振興係